常磐タイムス

發行日　毎月十日　二十五日
定價　一部　金十錢
發行兼編輯印刷人高橋竹四郎
發行所　福島縣平町才槌小路
常磐タイムス社

今や國民一齊に自覺せん

近來大多數の國民は漸く自己の生活難と四圍の環境に刺戟せられて此の生活難は惡政治の結果なりとし事を自覺するに至らんとして居る事は素より國家の爲めに甚だ喜ぶべき事柄であるが只恨むらくは自己の生活難よりして惡政を呼ぶは未だ眞に政治的に覺醒したる證據ではない、これは恰も大酒呑が大喧嘩をして頭を毆られてから始めて酒害を知ると云ふ樣な狀態を眞に酒害を知るのは喧嘩をせずとも頭を破られずとも之を知ると云ふ樣でなくてはならないのである。之れと同じく眞の愛國者は國家危急の場合ではなく國民が生活難のどん底に沈倫して居る際でなくとも自ら政治の善惡良否に據て國家の安危が生ずると云ふ賢慮明察の心が起るものである、之れを眞の政治家と云ふ之を眞の愛國者と云ふ。

唯一旦緩急あるとき命を捨てゝ働くばかりが眞の忠君愛國者ではない常に國家の前途を憂慮して之に對する適當の策を施し、上は聖慮を安じ奉り下七千萬同胞の幸福利益を圖るのが眞の忠君愛國である殊に立憲國の忠君愛國の道德は唯服從のみが忠君ではない、大に良智良能を發揮して國家の政治に參與し大に世界的人類の福祉を計り小は一町村一家庭の幸福安榮を增進し國家の力を擴大するにある。然るに我國の現狀は實に斯くの如き政治家に缺て居る斯くの如き良國民に缺てゐる今秋全國に亘る縣會の選擧は行はれんとして敵も味方も互に鎬を削りて戰ふ時期到來したる時は吾人は今直に其勝敗の數を彼是批議せんとするのではないけれども其候補者と云ふ候補者の顏振れを見るに何れを見ても立派なる縣會議員だ其の人格、德望、手腕、力量の上に於て或は政治的主義主張の上に於ても或は縣の舞臺に此人を出して或は縣の議政壇上に此人を送り果して我が福島縣の眞の代表者であると云つて恥かしからぬ人物があるか素より人格の點に於ては德望の點に於ても、手腕の上に於ても金力の上に於ても力の點に於ても衆を拔いた人もあらうけれども夫れが果して何だけ我國家國民の爲めに利益幸福を齎らすであらうか

（未完）

常磐炭礦界に君臨せる越賀炭礦主

直井藤郎太君

一度越賀炭礦並に大日本炭礦を訪れたものは直井君の信望と手腕とを見聞されるであらう君は斯界に於ける經驗家として往年越賀炭礦及び大日本炭礦を經營に入るや、奮鬪せる手腕は茲に遺憾なく發揮せられ着坑以來幾數年の日を經て常磐炭礦界に敏腕家として迅速的な輝ける成功の緒に就た日を經るに從へ其信望と手腕に依て順風的に今日の隆昌を見るに至つた君は、一面頗る溫情に富む紳士として歡迎せられて居る先年不況の當時より、而かも凡ゆる苦心努力して一人の失業者さへ出さなかつた事は周知の事實にして着坑以來炭質は其の最も優秀なるものとして各地より注文に殺到せられてゐる、所謂善因善果的社會報酬とも云ふべきものであらう。

奮鬪せる菊地詳三郎氏

記者は本日傾城トンチル工事を訪れて見れば本工事は鐵道界に珍らしき工事である事は菊地、神田兩氏の手腕を遺憾なく發揮せられ工事の契約期間は滿一ヶ年との事であるが殘工事は本年四五月頃には出來得るとのことであるが流石は菊地、神田氏の奮鬪努力偉大なるものである。

電燈會社所長として令名ある東部電力會社平營業所所長武田精一氏

大平町をより多く大ならしむべく、明るくすべく平素の努力を惜まない人に武田精一君がある。君は平町には尤も馴染まれてゐる名所長で剛健なる意志の所有者であるだけに思ふ所向ふ所是なりとして信條した事は敢行せずには置かないが判らず屋の頑固で押通すようなことではなく一般民のため社界のため有益なる點に於て奮鬪されるので今日の信望を聚めた理由であるが愈々氏の信用は深增せられ町民の多數から町の助役に推嚮されてゐる由である。

商店めぐり

▲和久井屋商店　品物の堅いのと主人の正直な商ひと他に比較して廉價なので繁榮してゐる。

▲松崎自動車店　車臺の清麗なのと迅速な營業振りとに於て評判が頗る良い。

▲西村藥店　平町第一の老藥店丈けあつて得意先も多く店も常に繁昌を極めてゐる。

▲三井履物店　聞ゐた三井下駄店だけに品物も揃つてる上に安い事は第一である嚴父死亡後現主人が店頭に立つて兄弟親戚打揃つての正直、親切な營業振りには感激させられる。

▲大一屋荒物店　荒物店として有名な堅い店でおが舊年末に際し小賣及び諸方からの注文で忙殺されてゐるだらう。

▲黑屋勝治商店　小間物問屋としての繁昌店で大黑屋と云ひば三ツ兒でさへも知つてゐる、立派な店だ主人公の潑溂たる營業心の逞りは百貨店の開店となつたが地の利を得たのと勉强するのとで客足が絶ゑない。

▲マルトモ書店　平町を飾つた大ビルヂングに納つたと云つても主人公振るようなことは絶對になく孜々として營業に精進してゐる今日縣下を通じての書店中有數店として繁殷を極めてゐる。

▲三井吳服店　三井吳服店と云へば東京の三越を想はせられるが平町の三井吳服店は田舍に於ける三越と云つても決して遜色なきまでに品物の撰擇と豐富な點に於て大繁榮を來してゐる山と積まれた舊年末賣出しの品物の夥多によつてすぐ判る。

德望深き山崎登君

紳士中の紳士

石城南端の雄山崎登氏は德望ある實業家として亦一面少壯政治家として勇躍してゐる一見若樣然とした風彩の所有者であるが一度立てば舌唇虹げつの如き氣を吐くと云所蘊蓄せる學識と裂帛の氣慨とに燃えてゐる論理には何人も瞠着たらしめられるのである。尙公共的心條に富み消防組頭として常に錦村内の爲め植田町のために盡力を惜まない、且つては破天荒的に火防宣傳の大たこを飛ばし宣傳上の記錄を破り世人をしてアッと云はせた程の智慧者である故に地方一般からの信望尤も厚く將來代議士として中央に送るべき人物として稱讃されてゐる。

投書歡迎

常磐タイムス社

舊正月二日市の初賣出し景品は山の如し

三井吳服店
平町三丁目
電話三八番

植田町
運送業
小野保

全く完備せる
貸切
乘合
貨物
マツザキ自動車
電話四四九
シシク
殊にタクシーは勉强を致します

磐城平南町
打綿布とん製造販賣
例年の通り農工銀行前へ出張賣出し
本間金太郎

西丸運送店　小名濱町
西丸猛

移轉廣告
葬儀
博盛堂
時節柄最大勉强仕可候
才槌小路堀江工業前
松本幸松

神戸海上運送火災保險株式會社
資本金壹千五百萬圓
火災保險
海上保險
運送保險
自動車保險
盜難保險
傷害保險
營業種目
平代理店
加藤丈夫
積立金九百三十五萬圓